



新潟大学長
長谷川 彰

卒業生、大学院修了生及び 退職される教職員の皆さんへ

平成17年の早春に新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、ならびに新潟大学を退職される教職員の皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

卒業生ならびに大学院修了生の皆さんは、これまでの学究生活を通して、学問の深遠さと厳しさに触れられましたが、今後どのような道に進まれようとも、学問に対する真摯な姿勢を保持していただきたいと思います。また、皆さんがこれまでに得た成果や、新しい発見に遭遇したときの感動を若い世代に伝えていただきたいと思います。

私たちは、将来にわたり、環境問題をはじめとする様々な問題を克服し、人間の尊厳を尊重し、社会の安全を確保し、自然と人間の共生のもとで持続可能な社会の発展を目指さなければなりません。二十一世紀を担う皆さんには、先人たちの努力に学び、あらゆる分野を総合した叡知をもって、かけがえのない生命と環境を守るための可能性を追求していただきたいと思います。

また、昨今のように、不況が長引き、世界経済が低迷する時代においては、自らの専門とは異なる分野へ挑戦するたくましさを持っていただきたいと思います。このような勇氣は、新しい分野を開拓する契機ともなり得るものであります。さらに、常に新しい知識を吸収しながら、自己を改革していく自律的な姿勢を維持していただきたいと思います。

退職される教職員の皆さんは、永年にわたり新潟大学の発展にご尽力いただきました。学園紛争、五十嵐キャンパスへの統合移転、国立大学の法人化をはじめ、数々の局面において新潟大学を側面から支えてこられた皆さんに、あらためて深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。今後とも健康には十分に留意されまして、ますます充実した日々を過ごしていただきたいと思います。

今後とも常に新しい知識を吸収しながら、
自己を改革していく自律的な姿勢を
持ち続けていただきたいと思います。

あらゆる分野を総合した叡知をもって、
 かけがえのない生命と環境を守るための可能性を
 追求していただきたいと思えます。

平成16年4月1日、国立大学法人新潟大学が発足しました。このたびの法人化は、競争的環境の中で活力に富む個性豊かな大学づくりを目指した改革です。これを機に、あらためて私たちは、自律と創生を理念とし、教育と研究を通じて地域と世界の着実な発展のために貢献する意思を固め、現代社会の要請に応える大学院実務法学研究科設置等の教育組織の充実、抜本的な教育課程の見直しの中での副専攻制度の導入、新しい研究分野の開拓を支援する超域研究機構の設置、知的資産の創出、保護、活用のための知的財産本部の設置等々、新しい大学づくりに取り組んできました。

新しい新潟大学の全体像は見えてきましたが、これで新潟大学の改革が終わったということではありません。むしろ、これは、新しい新潟大学を目指した出発点であり、これからも不断の改善に努め、教育研究活動の質の向上を図らなければならないと考えております。また、学外の方々の意見に耳を傾け、より社会に開かれた大学を目指したいと思っております。今後とも教職員一体となり、これまでの取り組みを着実に軌道に乗せて、法人化の目的を達成したいと思えます。

国立大学法人新潟大学が発足した今、私たちは、これまで以上に社会からの理解と支援を必要としております。卒業生と大学院修了生の皆さんにおかれましては、これからは同窓会活動などを通して、新潟大学を力強く支援していただきたいと願っております。また、退職される教職員の方々におかれましては、新しい新潟大学の発展ぶりを温かく見守り、私たちを励ましていただきたいと願っております。

ここに人生の一つの区切りを迎え、新たに出発される皆さんに、あらためて心よりお祝い申し上げます。

